

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	22 京都府内における道路の無電柱化の推進（防災・安全）（無電柱化推進計画支援）													
計画の期間	平成31年度～平成31年度（1年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	京都府,長岡京市													
計画の目標	京都府域において、道路の無電柱化を推進し、災害時の電柱倒壊等のリスクを軽減することで安心・安全な通行を確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		9,104	A	9,104	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末		R元末
1	京都府域の道路の無電柱化に着手する。			
	無電柱化推進計画（平成30年4月、国土交通省）に基づき整備を図る区間（京都府管理道路及び京都市を除く市町村管理道路）において、無電柱化に着手した整備延長	960m	m	1340m

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	改築	（主）福知山停車場線 福知山城下	電線共同溝	福知山市	■					70		-
		22-A25001																	
	A01-002	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	改築	（一）天の橋立線 文珠	電線共同溝	宮津市	■					100		-
		22-A26001																	
	A01-003	街路	一般	京都府	直接	京都府	S街路	改築	（都）御陵山崎線（第3 工区）	改築 0.2km	長岡京市	■					2,600	1.5	-
	A01-004	街路	一般	京都府	直接	京都府	S街路	改築	（都）御陵山崎線（寺戸 工区）	改築 0.2km	向日市	■					1,440	1.4	-
	A01-005	街路	一般	長岡京市	直接	長岡京市	S街路	改築	（都）長岡京駅前線（第 4工区）	改築 0.2km	長岡京市	■					2,240	1.02	-
	A01-006	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	改築	（一）園部停車場線	電線共同溝	南丹市	■					200		-
22-A22001																			
A01-007	街路	一般	京都府	間接	組合	区画	改築	亀岡駅北地区	区画整理 17.2ha	亀岡市	■					2,314		-	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-008	道路	一般	京都府	直接	京都府	都道府 県道	改築	舞鶴福知山線 福知山城 下	電線共同溝	福知山市	■					140		-	
		22-A25002																		
											小計						9,104			
											合計						9,104			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業主体である各市町と相互に調整し実施する	令和6年9月
	公表の方法
	インターネット（京都府HP）による公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	日本三景の一つである天橋立に隣接する一般府道天の橋立線（文殊）において無電柱化事業を実施したことにより、伝統的な沿道景観と道路景観の調和が改善され、観光地としての魅力が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
本整備計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金や個別補助制度を活用し良好な景観確保や災害時の電柱等倒壊リスクを低減させるため、無電柱化事業を推進する。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	1340m	京都府においては、府下の無電柱化事業を推進するため、道路管理者や電力会社等で構成する京都府無電柱化協議会を設置している。当該協議会において、事業化への課題調整等を実施し計画的かつ円滑な事業推進を図ることにより、目標値を達成することができた。
	最 終 実績値	1340m	